

2020年2月3日

各位

会社名 倉庫精練株式会社
代表者名 代表取締役社長 羽田 学
コード 3578 東証2部
問合せ先 総務課長 上田 紀昭
電話番号 076-249-3131

当社株式の時価総額に係る猶予期間の解除についてのお知らせ

当社株式は、2020年1月において月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上となり、東京証券取引所の上場廃止基準に該当しないことになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、2019年12月の月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円未満となり、東京証券取引所の有価証券上場規程第601条第1項第4号a本文（時価総額）に定める上場廃止基準に係る猶予期間に入りましたが、2020年1月における月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上となりましたことから、東京証券取引所の定める上場廃止基準に該当せず、猶予期間入りの指定が解除されることとなりました。

（ご参考）

①2020年1月の月間平均時価総額 1,016,627,678円

②2020年1月の月末時価総額 1,013,890,650円

（1月31日終値 710円 × 1月31日上場株式数 1,428,015株）

2. 今後の見通しについて

当社グループは、2019年11月8日付の「2020年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」のとおり、2020年3月期第2四半期（連結）の業績を売上高14億54百万円（前年同期比16.0%減）、営業損失1億7百万円（前年同期は1億47百万円の損失）経常損失1億18百万円（前年同期は66百万円の損失）親会社株主に帰属する四半期純損失49百万円（前年同期は、8億97百万円の利益）と公表しました。

また、2020年3月期通期（連結）の業績を、売上高27億70百万円、営業損失2億80百万円、経常損失2億70百万円、親会社株主に帰属する当期純損失2億円と予想しております。

当社グループは、2019年11月8日付で、2021年3月期から3ヵ年の新たな中期経営計画を決議し、公表いたしました。

新中期経営計画は、早期の業績回復のため、構造改革及び営業力強化による、コストダウン・利益率向上・オリジナル商品の販売拡大を実行していくことにより、2023年3月期（連結）には、営業損益・経常損益・親会社株主に帰属する当期純損益とも黒字化の達成を目指しております。また、新中期経営計画のキャッチフレーズを社員から募集し、「REBORN2022～Rise up together～」に決定し、現在、全社一丸となって取り組んでおります。

当社グループは、この新中期経営計画を着実に推進することにより、今後も引き続き東京証券取引所第二部における上場を維持するよう努力していくことはもとより、企業価値の更なる向上に取り組んでまいります。

株主の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしました。引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上